

1mmの積み重ね～地道な積み重ねこそ～

1. 〇〇先生って？

- ・福田先生って
- ・厳しい
- ・怒るとメチャクチャこわい
- ・良いことをしたらほめてくれる
- ・授業が面白い
- ・話が分かりやすい
- ・“厳しいけど、大切なことを教えてくれる先生”
- ・これが私の良い教師像

2. 最も大切にしていることは？

- ・「人格の形成」と「学力の形成」
- ・この二つを合わせたものが総合的な学力
- ・つまり生きる力
- ・“生きる力を培うために、日々の実践をしているか？”
- ・この考え方、つまり「教育哲学」を具現化したものが日々の授業
- ・日々の授業は細かな技術によって支えられている
- ・技術はたくさん持っていた方がよい
- ・技術とは行為の安定化
- ・百発百中であること
- ・しかし、どの技術を使うかはその時その時、子どもの状態、子どもによって違う
- ・その判断基準は「教育哲学」
- ・だから教育技術と共に、教育哲学をしっかり持っていなければならない

3. どんな子に育てたい？

- ・“具体的なイメージを持っているか？”
- ・人は自分の見たもの以上のことを想像することはできない
- ・先輩の授業を見に行こう!!
- ・“素直な子”
- ・“一生懸命頑張れる子”
- ・これが褒めたり、叱ったりの判断基準になる

- ・判断基準が明確だと子ども達は動きやすい
- ・子ども達の中に明確なルールができる
- ・そしてそれは日々が経つとそのクラスの文化になる

4. 親はどんな子に育てたいと思っているの？

- ・親を味方につけよう!!
- ・媚を売るのではない
- ・駄目なことは駄目と言う
- ・そして本当に良い時だけ、褒める
- ・そうすると褒めた価値が高まる
- ・担任発表の時にスタートがマイナスか、プラスか
- ・移籍一年目が勝負
- ・親の教師に対する評価が決まる
- ・同じ学校に長くいて、学級がうまくいっている先生に対する親の評価は例外なく高い
- ・それぞれの親の細かいニーズはそれぞれ違う
- ・教師も親も子どもも伸びる
- ・それが「共育」

5. 具体的な実践

- ・声を出す（挨拶・歌・返事・音読）
- ・声はエネルギー
- ・声を出すということは自分を表現すること
- ・掃除
- ・しゃべらずに最後まで
- ・教師がまず誰よりも掃除をする
- ・掃除の仕方（上から下へ、ほうきは面できれいにする、最後は雑巾）
- ・雑巾を使えるということはゴミに近づくということ
- ・ゴミに気付くことのできる人は友達のことにも気遣える
- ・自学ノート（予習・復習）
- ・最初は2ページ
- ・2学期中盤から最低60分
- ・やっていなかったらやり直し
- ・学級通信は趣味
- ・書きたいから書く
- ・ブログ感覚
- ・自費で製本
- ・ベストオブふくせん
- ・審査員特別賞
- ・卒業証書
- ・自分がいいなと思った新聞記事の紹介

- ・最終号は一人一人のことを載せる（BGMの活用）
- ・そうするためには毎日記録することが必要
- ・教育録を活用
- ・絵本『3びきのかわいいおおかみ』、『そとで遊べ』
- ・感謝する心を育てる
- ・ノートを見てもらう時
- ・さりげない親切
- ・忘れ物はレンタル
- ・必ず連絡帳に赤鉛筆で書かせる
- ・本気で喜怒哀楽
- ・どの子も褒め、叱り、怒る
- ・配慮はするが平等に
- ・高学年の女の子は大人の女性として接する
- ・自学のメッセージ（褒める、認める、叱る、諭す、促す、仄めかすなど）
- ・言いたいことは直接言う

6. 実践者として

- ・全力を尽くす
- ・体調が悪い時もある
- ・その時のベストを出すことが大切
- ・苦しんで生み出したことこそ、本当の力になる
- ・すべてに共通すること
- ・本物は続く、続けると本物になる
- ・時には見栄をはってしまうことも・・・
- ・人から（同僚、子ども、親、地域、管理職）から良く思われたい
- ・でも本当に大事なことは子どもを育てること
- ・厳しさと優しさの間で日々迷う毎日
- ・性急に成果を求めない
- ・性急に成果が出たものは本物ではない
- ・10年後、20年後でもよい
- ・しっかりした根がはれるよう種を蒔いてあげる
- ・それが初等教育
- ・そしてそれが自分の仕事
- ・子どもの成長のために自分も学び続ける
- ・定期的に勉強する場に参加する
- ・一度聞いただけでは本当のことは分からない
- ・その時の問題意識、自分の力量によって話の内容は違って聞こえる
- ・一生懸命仕事をしていると、アンテナが高くなる
- ・そうすると世の中すべてのことが教育につながってくる
- ・圧倒的な量は質に変化する

7. 父親として

- ・小言は言わない（職業病で!?, すぐに言ってしまいます・・・）
- ・受け入れる（性格上難しいです・・・でも頑張ります）
- ・自分がやる（何で俺がと思ってしまいます・・・）
- ・家庭は修行の場（こんなふうに書くと過酷な家庭環境のようですが、楽しい家庭です）

8. 学んできた指導法

国語

- ・指名なし音読
- ・指名なし発表
- ・焦点精査
- ・百人一首カルタ
- ・漢字指導
- ・漢字小テスト丸つけ

算数

- ・10 マス計算
- ・フラッシュカード
- ・10 の補数

社会

- ・一枚の絵から
- ・歴史カルタ
- ・新聞指導法

理科

- ・実験ノートのまとめ方
- ・ノートの評価方法
- ・星座カルタ